

0550

號

第

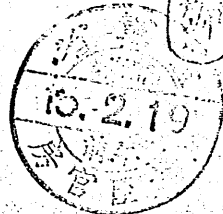
三月四日

昭和十五年二月六日  
北連政調第九號

興華北連政調情報第五十六號

興亞院華北連絡部

政務局調查所



配 付 先

一部内 (政務局庶務室渡)	一二部
興亞院蒙疆連絡部長官	一部
興亞院華北連絡部青島出張所	一部
興亞院華中連絡部長官	一部
南京派遣員事務所	一部
興亞院厦門連絡部長官	一部
興亞院政務部長	一部
多田部隊參謀長	一〇部
北京日本憲兵司令官	一部
參謀本部支那課長	二部
陸軍省大臣官房	一部
陸軍省軍務課長	一部
北京日本大使館陸軍武官室	一部
計	四八部

目次

政治

- (一) 吳佩孚將軍舊部下ノ現況
- (二) 在天津安福派在野政客ノ中央政權樹立ニ對スル言動
- (三) 中國共產黨第七次全國代表大會召集說
- (四) 王克敏委員長辭職說ニ就テ
- (五) 興亞協進社ノ積極進展
- (六) 中國青年黨ノ主張
- (七) 興亞協進社江正源ノ聲明書
- (八) 興亞協進社第一次社員大會議案
- (九) 青島特別市ニ於ケル阿片概況

外事

- (一) 日本新内閣評

- (一) ルーター社ウツドヘッド談
- (2) 米國聯合報ホワイト談
- (二) 日米通商條約問題
  - (1) 米國聯合報ホワイト談
- (三) 英艦淺間丸臨檢事件
  - (1) ルーター社ウツドヘッド談
  - (2) 米國ユナイテッドプレス社バージャー談
- (四) 米大使ジョンソン漢口訪問
  - (1) 米ユナイテッドプレス社バージャー談
- (五) 日本ノ排米運動ニ就テ
  - (1) 米國聯合報ホワイト談
- (六) 蔣政權ノ對ソ關係
  - (1) ルーター社ウツドヘッド談

經濟

- (一) 舊年末ニ諸物價騰貴ニ對スル警察局ノ取締
- (二) 東亞運輸組合創立

文化

- (一) 市教育局主催ノ日語講習會
- (二) 新民佛教青年會ノ日語普及工作
- (三) 高等文官試驗制度設置
- (四) 中國教育總會常委員會議開催

治安

- (一) 經濟警察委員會成立
- (二) 開封綏靖委員會改組

0990

(三) 重慶聯絡員倪鴻福ノ逮捕  
(四) 天津市ニ於ケル共產黨秘密連絡方法

政治

(一) 吳佩孚將軍舊部下ノ現況

吳將軍<sup>軍</sup>長逝後彼ノ部下ハ或ハ失望シ或ハ失望ノ結果葬式後ニ離散セントセルモノアリテ文字通り亂雜ノ状態ヲ呈シ居レリ、然シ乍ラ其ノ裏面ノ事情ヲ誰ヨリモ知悉シアル彼ノ舊部下ノ幹部連中ハコノ状態ヲ甚々憂慮シ其ノ善後ニ就キ種々研究ヲ加ヘタル結果、遂ニ吳將軍ノ遺業トモイフヘキ救國運動ヲ繼續シ以テ新中國建設ニ貢獻スヘキ事ヲ決定セリ、而シテ其ノ具體的辦法トシテ先ツ現ニ生活困難ニ陥リアル舊部下ヲ吳將軍ノ舊同僚タリシ臨時政府治安部長齊燮元氏ニ其ノ世話方ヲ依託シタル一方、吳將軍ノ舊同僚及ヒ舊部下ヲ糾合シ一層團結シテ黨派（政黨トモ云フヘキモノ）ヲ確立スル事トナレリ、以來吳將軍ノ舊部下ナル張方巖（以前吳將軍ノ參謀處々長ノ職ニアリシモノ）氏カリ

一ダトシテ政黨ノ組織ニ着手セリ、目下未タ具体的ナル程度ニハ到達セサルカ大体湯薊銘氏ヲ吳佩孚派ノ黨首ニ推戴スル事トナレリ、黨組織ノ内容ニ至リテハ目下尙ホ未定ナリ又黨員ノ資格問題ニ就テモ單ニ吳將軍ノ舊同僚及ヒ舊部下ニ限定スルカ將又新同志ノ參加ヲモ許スカハ目下研究中ナリ而シテ吳佩孚派ノ政黨確立ニ就キ關係當局ト交渉シ種々奔走シ居ルモノユ上角顧問ナルモノアリ、又某有力者ヨリ種々ノ助力ヲ與ヘアル由、追而將來吳佩孚派ノ政黨成立ノ曉ニ該黨ノ黨首トナルヘキ湯薊銘氏ノ經歷ヲ掲ケハ左ノ如シ

#### 湯薊銘略歴

○湯薊銘、字ハ鑄新ト稱シ湖北省蕪水縣ノ人ナリ、前清中福建船政學堂ヲ卒業シ閩浙總督松壽ヨリ直隸知州ニ推荐セラレ、嗣イデ軍艦鏡清ノ機關長、南琛ノ副長ニ累進、第一革命ノ際海軍提督薩鎮冰ヲ勸メテ革命軍ニ應セシメタリシカ意見合ハスシテ辭職、後武昌ニ奔リ革命軍ノ樞機ニ參劄シ大イニ功績ヲ擧グ、民國元年四月



劉冠雄ノ推荐ニヨリ海軍次長ニ任シ全二年湖南都督ニ、全年六月  
靖武將軍督理湖南軍務ニ改メ陸軍中將ニ補セラレ、全四年一等侯  
ニ封セラレシガ全五年袁世凱死スルヤ民黨中氏ノ態度ノ曖昧ナル  
ヲ非難スルモノアリシ爲メ七月遂ニ逃亡シテ天津ニ入ル、全六年  
一月信威將軍ニ任シ將軍府ニ列ス、爾來官界ニ入ラス、當年六十  
歳ナリ

## (二) 在天津安福派在野政客ノ中央政權樹立ニ對スル言動

青島ニ於ケル中央政治會議開會ノ折柄當地佛租界居住在野安福系政客ノ動靜ヲ打診シタル狀況根要左記ノ通り

一、新中國中央政權ノ樹立ハ日本朝野ノ一致セル強力ナル指導ト協力支援下ニ順調活發ナル進展ヲナシ今ヤ青島ニ於テ汪精衛一派ノ國民黨領袖ト蒙疆、北支臨時、中支維新等各地地方政權代表者ノ中央政治會議開催セラレ日本ノ指導ト協力援助ニ依リ中央政權樹立ニ對スル大綱ヲ協議決定シ速ニ新政權ノ樹立ヲ見ルヘキモノト確信ス現下中國ノ諸狀勢ヨリ見テ中央新政權ノ一日モ速カニ確立スルコトヲ待望ス

二、新政權ノ樹立ハ東亞新秩序建設ノ段階ニシテ之ニ依リテ和平救國ノ速カナランコトヲ切望ス、然シナカラ新政權ノ樹立ニ依リ和平工作ノ速カナル望ミハ持チ得ナイ、何ントナレハ中國自体トシテ現下政權ヲ擁護シ得ル何等ノ實力ヲ有シナイ、即チ兵力ヲ有シナイ、政權ノ確立ト政策ノ實行ハ之ヲ擁護スル強力ナル軍隊ヲ必要トスル、

勿論各地政權ニ於テ軍隊ト警察ノ増加訓練、養成ニ努メ之カ擴充強化ヲ計リツ、アリト雖モ未タ國共合策ノ反動政府ノ軍力ニ對抗スヘキ何等ノ實力ヲ有シナイ點ニ缺陷カアル此ノ點日本ノ協力援助ニ依リ日本軍隊ノ力ニ全幅ノ信賴ヲ持チ新政權ノ確立ヲ期シ得ヘキモ戰爭ハ當分長期的ニ持續シ和平ハ當分望ミ得ナイト思ハレル、

三、今次新政權ノ樹立ハ日本ノ近衛聲明ヲ基調トシ汪精衛一派ノ國民黨ヲ主体トシテ而カモ三民主義ヲ其ノ黨綱トシタルモノニ其ノ進展ノ端ヲ發シ彼等ノ召集セル上海第六次全中會ニ於テ大体ノ方針ヲ協議決定シタルモノト認ムルコトヲ得、

勿論汪ノ主張スル三民主義ノ内容ハ重慶政府ノ國是トスル三民主義ト異ナリ是正セラレタルモノナリト雖モ其ノ本質ニ於テハ從來ノ其レト變化ハ無イ、茲ニ於テ事變後東亞新秩序建設ノ目標ヲ以テ北支、中支、蒙疆等ニ成立シタル各地方政權ハ其ノ成立ノ經緯

ト今日迄ノ經過ニ鑑ミ汪精衛ノ主張ニ對シ無條件ニ贊意ヲ表シ之ニ承伏シ其ノ率下ニ參劃スルコトヲ得サル各種ノ事情力存在スル然モ我々ハ決シテ東亞新秩序ノ建設其ノモノニ對シ反意ヲ抱有スルモノテハナイ、只其ノ主義ニ對シ見解ヲ異ニスルモノテアル、三民主義ヲ國是トスル純國民黨ヲ主体トシテ構成スル新政權ニ對シ疑問ヲ有スルモノテアル、此ノ點日本ノ指導ト援助ニ依リ是正サレタル國民黨ト雖モ一黨立國ノ弊ヲ改メ其ノ方向ヲ轉シテ既成地方政權ト既成政黨ヲ參加網羅シ新政權ノ圓滿ナル成立ヲ劃スルニ至リ青島今次ノ中央政治會議ハ其ノ現レト見ルコトヲ得、

四 汪ハ過般使者ヲシテ目下香港ニ居住中ノ安福派巨頭元財政廳長最近ニ於テハ冀察政府ノ經濟委員長ノ任ニ在リタル李思浩及元交通總長曾毓雋等ニ對シ新政權樹立ニ參劃方ヲ要請諒解ヲホメタルモ其ノ要請總望ヲ固辭シタル旨京津在野同志ニ連絡アリ京津ニ於ケル同志モ之ニ同意シ新政權ニ參加セサルコトニ方針ヲ決定シタ狀

況ニ在ル其ノ理由トスル處ハ汪ノ主張スル三民主義ニ對シ承伏シ得サル點ト汪ノ人格ニ對シ望ミヲ託シ得サル點ニ存スル汪ノ人格ニ信賴ヲ持チ得ナイ點ニ就テハ汪カ國民政府時代ニ採リタル行動ニ就テ之ヲ明ニスルコトヲ得ル

五現在北京臨時政府内ノ安福派ニ屬スル有力者トシケ内政部總長王揖唐司法部總長朱琛ノ二名アリト雖モ恐ラク汪ノ傘下中央政權ニ參加セサルモノト認メラル、北支政權カ特殊ナル權限ヲ認メラレ臨時政府ノ名稱ヲ解消シタルニ止マリ其ノ實體ヲ持續スルニ至ラハ現位置ニ止マル程度ノモノト見ラレ若シ彼等王、朱乃至ハ在野或福系政容カ新政權ノ中央部ニ進出スルトセバ之ハ別個ノ見方ニ依リ時局拾收ノ大精神ト之ヲ後援支持スル「バック」ニ全幅ノ信賴ヲ託シテ出馬スルモノト認メラル

北京ニ在住スル有力ナル在野安福派人物トシテ姚國楨、陸宗輿ノ

兩名アリト雖モ新政權ニ參加スル意志ナキモノト認メラル、  
 六 香港ニ雖伏中ノ李思浩、曾毓雋兩名ノ人物ニ就テハ社會周知ノ通  
 リ人格ニ於テ政治的力量ニ於テ大人物テアル李思浩ハ臨時政府成  
 立ニ際シ現在ノ王克敏ノ地位ニ推戴ヲ受ケタルモ政治的解決ニ依  
 リ當時南京ニ於ケル國民政府ニ連絡セントシ全地ニ赴キ抑留セラ  
 レタル儘香港ニ赴キ引キ續キ全地ニ居住中ニシテ李思浩等一流ノ  
 人物力動カサル限り安福系在野政客ハ動カサルモノト認メラレ我  
 々系統政客ノ動クヘキ時期ハ更ニ到來スヘク現下時態ノ推移ヲ靜  
 觀ノ狀況ニ在リ云々、  
 七 現在安福系人物トシテ有力ナル者ハ左 表ノ通り

### 安福派政客

#### 一、香 港

李思浩

前財政總長冀察政府經濟委員長

會毓雋

前交通總長

三北 京

王揖唐

現臨時政府內務部總長

朱 琛

司法部總長

姚國楨

前烟酒督辦前交通總長

陸宗輿

前駐日公使

三 天 津

曹汝霖

前交通總長

日界 秋山街二二

高在田

前庫倫團長

日界 春日街一六

龔心湛

前內務總長

特二區 火安里一〇

張蘭淑

前 湖 南省  
財 政 廳 長

英界坡羅士道一二九

張樹元

前湖北省長

英界十五號路一六四

陳樹藩

前陝西督軍

英界六號路一四四

鐘世銘

前財政部長

英界盛茂路五九

段宏業

前執政府參議

英界四七號路鼎和里一

張廣建

前福建省長

巴斯克斯道二六一

杜錫珪

前海軍總長

五三號路永安里一二

倪幼丹

前安徽省財政廳長

牆子路

鄧雲渠

前礦務督辦  
東亞晚報

〃

天津情報



## (三) 中國共產黨第七次全國代表大會召集說

最近ノ情報ニ依レハ中國共產黨中央部ニ於テハ國際新局面下ニ於ケル變轉狀勢ト國內ニ於ケル國共ノ軋轢、新中央政權樹立等ニ鑑ミ黨政軍ノ全面的革新ヲ計リ現諸狀勢ニ適應スル具体的新對策ヲ討議確立シ以テ黨政軍ノ強化擴充ヲ計ル爲來ル二月一日延安ニ第七次全國代表大會ヲ召集スルコト、ナリ昨二十八年十一月末隸下各省特委等ニ指令ヲ下シ對策意見ヲ取り纏メ代表派遣方ヲ令達シタル趣ニテ天津特市委ニ於テハ右指令ニ基キ二名ノ代表詮衡シ本年一月六日延安ニ出發セシメタル趣ナリ、

右ハ謀者ノ提報ニシテ其ノ真相不明ナルモ最近國共ノ對立、重慶於ケル中央黨幹部ノ延安移轉說日本ノ全面的協力支援ニ依リ成立準備ヲ整ヘツ、アル中央政權ノ樹立ヲ眼前ニ控ヘ居ル折柄注意ヲ要

0572

スヘキモノト認メラル

天津情報報

## (四) 王委員長辭職説ニ就テ

確固スル所ニヨレハ王委員長ノ信任セル人ヨリ下ノ如キ消息ヲ外間ニ漏セリ、即チ王委員長ハ去ル一月二十六日青島會議閉會後急據歸燕シ華北電業公司開幕ニ參加セシカ還京勿々一月二十八日汪精衛氏ニ手紙ヲ送付セリ略ニ曰ク「新中央政權成立ニツキ予ノ引退決定ニヨリテ臨時政府維新政府兩政府ノ中央政府合流ヲ容易トナルヘク而シテ華北特殊化ヲ促進スルモノナリ唯望ムラクハ汪氏カ予（王氏）ニ二三ヶ月ノ期間裕余ヲ與ハラレタク其間ニ於テ總テノ懸案ヲ片付得ヘント云々」此ヲ觀察スルニ王氏ノ引退決意ハ遠カラス實現スルニ至ルヘシ云云

## 行政委員會秘書室ノ一員談

註、右ノ如キ書信ヲ送リシヤ否ヤハ確否不明ナルモ一説情報トシテ

掲載

## (五) 興亞協進社ノ積極進展

市公署方面ヨリ仄聞スルニ、興亞協進社成立後、積極的工作ヲ推進セシカ爲、去ル三十日午前各地ニ於ケル分社及ヒ北京支社ヲ召集シ、指導會議ヲ開催セリ、出席者ハ胡伯玉等十餘人ニシテ、河北、保定、張家口ノ各分社ノ工作進行ニ關スル件ノ審議ヲ開始シ、太原、開原、濟南等ノ各地ニ於テ引續キ分社ヲ擴張設立シ、業務ノ發展ヲ圖ラントス

二月三日

### (3) 中國青年黨ノ主張

警察局特務科カ中國青年黨方面ノ情報ヲ調査シタル所ニヨレハ中國青年黨成立後、去ル十二月頃徐州ニテ第二次全國代表大會ヲ開催、既ニ其ノ主義ヲ發表セリ、其主張ハ青年黨同志ハ新中央政權ノ問題ニ對シテ莫大ナル關心ヲ持ツノミナラス、目下ノ處一般民衆モ新中央政權ノ成立ヲ切望シラル状態ニテ青年黨ハ一日モ早クソノ實現セン事ヲ希望スト、嘗テ上海國民黨六中全會ニ於テ各黨派及ビ在野名流ノ參與ヲ容認シ、共ニ國事ヲ協議セン事ヲ主張宣言セリ、コノ點ハ本黨歷年來ノ所持スル主張ト一致スル處ニシテ各黨派ヲ收容スル理由ハ黨派ノ對立ヲ消滅セシメントメニシテ、一黨ノ專政ヲ意味スルモノニ非ラズ、今後政府ノ政綱ハ須ラク各黨各派ノ一致合作ニヨル可ク、將來青年黨ハ中央政治會議ニ參加スルヤ否ヤハ未ダ決定セザルナリト

## (由) 興亞協進社江正源ノ聲明書

本市興亞協進社領袖江正源氏ハ七十四名ノ同志ト聯名シ一月二十二日  
會テ「黃浦同學及ビ藍衣社〇〇團諸同志ニ告グノ書」ヲ發表セシガ同  
聲明書ノ趣旨ハ一般同學及ビ同志ハ速カニ黨府ヲ脫退シ相共ニ和平ニ  
努力ヲ致シ新政權ヲ贊助シ以テ中國ヲ當面ノ危機ヨリ救出スベシト又  
同聲明書ノ原文ヲ王克敏、梁鴻志、汪精衛諸氏ニ贈リタリト

治安部方面情報

二月三日

(内) 興亞協進社第一次社員大會議案

治安部ノ消息ニヨレハ興亞協進社ハ會務ノ進行事項ヲ討論スル爲メ十四日ニ第一次社員大會ヲ開ク豫定ニシテ右大會ニ於テ今後ノ工作方針ノ決定ヲ見ルヘシ、其ノ重要ナル議案ハ左ノ如シ

- 一、興亞有志ノ覺悟ヲ喚起シ、コレガ大同團結ヲ期スルコト
- 二、國內ニ於ケル新進青年大衆ト密切提携合作スルコト
- 三、新民主主義ノ旗幟ノ下ニ新政權ヲ擁護スルコト
- 四、有效適切ナル方策ヲ以テ中日和平ヲ圖ルコト
- 五、新社員ノ訓練計劃ヲ確立スルコト

又同社ノ張家口、太原ニ於ケル兩支社ハ將ニ本月中旬頃成立スベク現在一切ノ籌劃事項ハ既ニ完了セリト

二月六日

## (九) 青島特別市ニ於ケル阿片概況

一、青島特別市ハ蔣政權時代ハ禁烟地區ト指定セラレナカラム阿片吸食ノ状態ハ他ノ地方ト何等異ナル處ナキノミナラス却テ其ノ裡面ニ深刻ナルモノケリタルカ如ク密烟館經營ノ如キモ二三千戸ニ及ヒ、又阿片取引ノ集散地トシテ一ヶ月十五萬兩（一兩約十匁）程度ノ取引カ行ハレタリト謂フ現状ニ鑑ミ臨時政府ノ財源の緊急處置法タル禁烟清查條規ニ基キ昭和十四年八月ヨリ土店、膏店ノ開設ヲ許可シタルモ密吸食密烟館ノ經營ハ依然トシテ公土ハ私土ニ壓倒セラレ緊急處置ノ目標タル國家財源モ其ノ大部分ハ密取引業者ノ私財ト化シツツアルノ實況ナリ於茲當局ハ禁烟委員會ヲ組織シテ禁烟行政ノ統制強化ヲ圖リ特ニ阿片緝私隊ヲ編成シテ檢察機能ヲ補強スル等他ノ地方ニ一歩前進的ニ銳意現情勢ノ改善ニ努力シツ、アルモ尙其ノ實効ヲ期待シ得サルノ現状ナリ

二、各土店、膏店經營者ノ意見ヲ綜合シ其ノ一致點ヲ基礎ニ應者數並ニ



其ノ阿片吸食量ヲ考察スルニ膏店ニ於ケル吸食者ハ六七千人、密烟館ニ於ケル吸食者ハ大凡一萬人、自宅密吸食者ハ三四千人、計大体二萬人内外ト推定セラレ、之等吸食者ニ依ル阿片ノ消費量ハ一人一ヶ月約一兩半トシテ約三萬兩ト推定セラル、モノナリ。此ノ吸食者ノ二萬人ハ人口五十萬ニ對シ四「パーセント」トナリ、台灣ニ於ケル六、三「パーセント」、滿洲ニ於ケル三「パーセント」ナリト謂フ統計ヨリ觀察スルモ其ノ約中間以下ニアルヲ以テ一應之ヲ首肯セラル、モノナリ、尙消費量三萬兩ハ台灣、滿洲ノ一人一ヶ月二兩半以上ニ對シ、一兩半ハ稍<sup>過</sup>少ナルモ阿片ノ需給關係ト阿片價格暴騰ノ經濟的關係等ヲ考慮スルトキハ此ノ消費量モ亦一應ハ首肯セラル、モノナリ、

尙觀點ヲ異ニシテ昨年度中市内消費ト思考セラル、阿片ノ密取引檢舉數量ハ一ヶ月平均約六百兩ナリト謂フ數字ニ付推考スルニ一ヶ月ノ消費量ト推定セラル、三萬兩ニ對シ、二「パーセント」ニ當リ、

台湾ニ於ケル密輸入檢舉數量カ密輸入量ノ約五「パーセント」ナリ  
 シ體驗ニ鑑ミ、台湾ノ情勢ト支那ノ實狀トヲ比較考察スルトキハ其  
 ノ檢舉率カ台湾ノ二分ノ一弱ハ寧ろ多カルヘク、從テ一ヶ月最少限  
 三萬兩ノ消費量ト推定シテ可ナルヘキナリ。於茲一ヶ月最少限三萬  
 兩ノ消費量ニ對シ昨年八月以降一ヶ月公土ノ消費量三千餘兩ハ大体  
 其ノ一割強ニ當リ九割弱ハ密取引ノ私土カ消費セラレツ、アルモノ  
 ト推考セララル、モノナリ

三、如斯公土カ私土ニ壓倒セララル、原因ハ現制度ノ缺陷ニシテ其ノ結果  
 ハ他ノ事實ニ反映シ、烟膏ノ暴騰ヲ來シ現在烟膏ノ價格ハ一兩二十  
 五圓ト謂フ驚クヘキ高價ニテ事變前北京ニ於ケル價格三圓ナリシト  
 謂フニ比較スルトキハ八倍強トナリ尙益々暴騰ノ傾向ニ在リト謂フ  
 此ノ情勢ヲ永ク持續セシムルニ於テハ癮者ヲ經濟的ニ困シメ思想的  
 ニ惡化セシメ新政權ヲ敵視セシムル禍根ヲ培養スルコト、ナリ  
 其ノ政治的ニ社會的ニ極メテ重大ナル結果ヲ招來スルコトアルハ多

言ヲ要セサル所ナリ、特ニ帝國指導ニ依リ蔣政權ノ斷禁ヲ漸禁ノ合  
理性ニ解禁シタルモノ、其ノ主眼トスル財源的機能モ發揮シ得サル  
カ如キ事態ハ政治的指導力ノ威信ニモ關スル結果トナリ、其ノ影響  
スル所ノ重大ナルニ鑑ミ緊急之カ對策ヲ樹立スヘキト思考セラレ、  
モノナリ、



ハ米内内閣ハ一時的ニシテ永ク命脈ヲ維持シテ行カレルモノテハナイ  
ノタ、日米間ハ一月二十六日ヨリ最早無條約時代ニ入ツタ、コウナツ  
テ來ルト日本トシテハ經濟方面ノミカラ云ツテモ相當ナ困難ニ遭遇ス  
ルテアラウ、之ハ悉ラク何人モ否認シ得ナイコトタト思フ、米内内閣  
ハ果シテ近衛及ヒ阿部兩内閣ヨリ以上ノ如何ナル新方策ヲ有シテ居ル  
タラウカ、固ヨリ閣内ニ於テハ政黨ノ背景ヲ有ツ閣僚モ幾人カ居ルカ  
然シ日本ノ政黨政治ハ頃來軍人ノ爲ニ支配サレルヤウニナツテ居ル、  
大規模ナ經濟動員ヲ行フヤウニテモナレハ之等ノ少數閣僚カ民衆ノ利  
益ヲ計ラウトシテモ軍人勢力ニ依ツテ壓倒サレルテアラウ、其時米内  
首相ハ如何ニシテ之ヲ處理シ得ヨウカ、

(2) 米國聯合報北京特派員ホワイト氏談

元來近衛公ハ最モ有力ナ候補者トシテ期待サレテ居ツタカ遂ニ成功ノ  
一步手前テ敗レタ、我々ハ近衛公ノ軍部並ヒニ議會兩方ヨリ全然後援  
乃至擁護ヲ受ケテ居ラヌコトヲヨク知ツテ居ル、其故ニコソ近衛公ハ

姑ク消極的トナツタノテアラウ、現下日本ハ日米通商條約ノ存續問題  
 ニ付キ果シテ首尾ヨク處理出來ルカトウカト云フコトハ、平素國際情  
 勢ニ理解ヲ有チ、且ツ實行力ヲ有スルモノカ出テウマク選用シ得ルカ  
 否カニ依ルト思フ、而シテ米内氏ハ何ヲ以テ之ニ答ヘ得ルテアラウカ、  
 有田外相ト雖モ在來ノ一古手外交官ニ過キナイテハナイカ、假令ハ芳澤  
 重光乃至東郷カ選ハレ出テ來タトシテモ軍人ノ支配下ニ在ル限リニ於  
 テハ其ノ手腕ヲ發揮シ難イト思フ、故ニ此ノ度ノ内閣更迭ハ益ク無意  
 味タ、日本カ海軍部員ヲ以テ組閣セシメタノハ米國ニ對シテ一種ノ痛  
 嚇ヲ爲スト一般ノ無識者遠カ云ツテ居ルカ然シ之ハ信スヘキコトテハ  
 ナイ、何トナレハ日米間ノ紛争ハ軍事上ノ問題テハナク、經濟關係ニ  
 在ルノタ、若シ日本カ米國ノ眞意ヲ理解セハ兩國ハ容易ニ敵對者カラ  
 同盟者ニ變ルテアラウ、然シ日本ノ軍人達ニハ斯カル利害ハ判ルマイ  
 ト思フ、

## (二) 日米通商條約問題

## (1) 米國聯合報北京特派員ホワイト氏談

日本カ盛ニ逆宣傳ヲシ、樂觀的態度ヲ裝ツテ居ルカ、然シ米國ノ信スヘキ消息ニ依レハ目下此ノ問題ニ關シテハ全然進展ノ徵候カナイノタ  
日本ノ最モ承諾シ難イ點ハ在支戰爭區域ニ於ケル損失ノ賠償テアリ、  
之カ交渉ノ障礙物トナツテ居ルノタ、日本ノ懸念シテ居ルノハ各關係  
列強カ相隨イテ之ヲ以テ先例ト爲スコトテアル、若シサウナルト日本  
トシテハ財力カ足りナイタラウト云フ虞レヲ有ツテ居ルカラテアル、  
(2) 米國ユナイテッド・プレス北京駐在員パージャー氏談

私ノ觀察ニ徴レハ日米間ノ新通商條約ハ目下絶對ニ再締結ニ至ル望カ  
ナイ、何トナレハ米國國內ニ於テハコノ問題ニ關シ明カニ三ツノ異ッ  
タ派別カアルカラテアル、即チ一行政派（米總統及ヒ國務卿ハルヲ指  
ス）コノ派ハ黃金ヲ命ヨリモ重視スル鋼鐵商人及ヒ軍需品商人ト意氣軒  
昂タル議會ノ間ニ立チ、進退ニ迷ツテ居ル現状タ、故ニ行政機關ハ勝手

ニ對日讓歩ヲ爲スコトカ出來ナイ、ニ議會派、之ハ昨年以來前任フイ  
リツピン總督等ヲ中心トスル太平洋ノ防禦ヲ鞏固ニスヘシト云フ、一  
派ノ政客ニ德憑セラレ、現下ノ日米無條約時代ヲ口實トシ、二ヶ月前  
會テ自ラ反對ヲ唱ヘテホタグアム島要塞化問題ヲ公然ト通過サセ、且  
ツ行政機關ニ迫リ、マニラ會議ノ決議セル各項ヲ遂行セシメタ等ノ點  
カラ見ルモ右ハ彼等議會カ自己ノ立場ヲ強化セシメツアル證左トナ  
スコトカテキルテアラウ、ニ産業派、産業界巨頭例ヘハ鋼鐵、石油及  
ヒ軍需品商人ハ政治ノ背後ニ極メテ大ニシテ且ツ輕視スヘカラサル潛  
勢力ヲ有シテ居ル、此ノ一派ハ行政機關ヲ督促シ、産業界ニ不景氣ノ  
招來スルヲ免レル爲對日輸出ヲ繼續スヘシトシ密カニ働キカケテ居ル  
コトハ事實タ、以上各派ノ作用カアルカラ極メテ沈滞セル空氣ヲ醸成  
シテ居ル果シテ何レカ勝利ヲ占メルテアラウカトイフコトハ容易ニ臆  
測出來ナイノテアル、之ニ依ツテ見テモ駐日米大使ノ東京ニ於テ爾會  
談ハ單ニ一種ノ外交上ノ課程ニ過キナイノタト謂ヘルテアラウ、



(三) 英艦淺間丸臨檢事件

(1) ルーター社北京支局長ウツドヘツド氏談

私ノ意見テハ目下本事件ニ就テ双方共激烈ナ論戰ヲ交シテ居ルカラ其ノ結果ドウナルタラウカハ未タ豫想シ難イカ然シ日本ハ矢張輿論(軍閥指揮下ノ輿論テハアルカ)ヲ無視スルコトカ出來ナイテアラウ、固ヨリ日本ハ之ヲ擴大宣傳シ、軍閥カ之ヲ以テ口實トシ、日支兩國ニ於ケル反英運動ヲ強化スルコトカ出來ルカ、然シ之ハ不必要ナ懸念タ、私ノ觀察ニ依ルト日本當局ノ現在把持シテ居ル國際方針ハ相變ラス民主義國家群トアル程度迄ノ親密關係ヲ保持スルコトタ、日本カ最近殆ント過激ナ行動ヲ取ラナイ點カラ考ヘテ昨年ノ如ク反英運動ヲ繰返サナイタラウト思フ

(2) 米國ユナイテツド。プレス北京特派員バージャー氏談

コノ事件ハ日本輿論ノ憤慨ヲ買ツテ居ルカ然シ法理的ニハ英國ハ確カニ其ノ立場ヲ有シテ居ル、何トナレハ英國ハ一般中立國ニ對シ先般來

自國ノ採ルヘキ措置ヲ通告シテ居ルカラテアル、然シ乍ラ英國ハ現ニ  
獨ソト戦ヒ、大ナル仕事ニ没頭シツツアル情勢ニ鑑ミ、必スヤ日本ヲ  
シテ極端ノ途ニ走ラセ、獨ソニ好機會ヲ與ヘルコトナク、妥協ノ態度  
ニ出ルタラウト思フ、私ノ觀察テハコノ事件ハ昨年ノ日支兩國ニ於ケ  
ル反英運動ヲ再發セシムルニ足リナイト思フ、

## (四) 米大使ジョenson 漢口訪問

米國ユナイテツド。プレス北京駐在員パージャー氏談  
米國大使ジョensonノ漢口訪問ハ表面上揚子江上流部分ヲ調査シ、將來  
ノ開放準備ヲ爲スト云ツテ居ルカ、其實最近數ヶ月漢口ニ於ケル米國ノ  
取引ハ既ニ衰微シテ居ル、(詳細ハ不明)爲ニ、ワシントン政府カ右大  
使ヲ特派、調査セシメ、以テ將來ノ救濟策並ヒニ賠償要求ヲ講スヘシ、  
トスル意圖カラテアラウ、

## (五) 日本排米運動ニ就テ

米國聯合報北京駐在員ホワイト氏談

支那ニ於ケル日支官憲力目下排米用ノ宣傳ビラヲ印刷シツツアル等ト云フル。ター社ニユースカアルカ、私ハソレヲ信シテ居ラヌ、日米間ハ通商條約廢止以來世ニ色々ナデマカ飛ハサレテ居ルカ幸ニ日本ノ方ハ外交文書ヲ以テ立場ヲ闡明シ餘リ感情ヲ傷ケルヤウナ行動ヲ採ラナカッタ、此ノ間日本ノ天津駐屯司令官カ偶々排米的性質ヲ帶ヒタ談話ヲ爲シテ又モヤ一般ノ懸念ヲ惹起スルニ至ツタ、然シ私ハ此ノ種ノ發言ヲ以テ直チニ排米運動ト爲スノハ聊カ早計ニ失スルト思フ、何トナレハ日米間ノ貿易關係ハ極メテ深く且ツ大ナルモノニシテ、日本ハ通商條約ノ失效中ニ於テモ感情ヲ傷ケルヤウナコトヲシタクナイノタ、コノ事ヨリスルモ日本カ如何ニ大局ニ着眼シ、苦心ヲシテ居ルカカ察セラレル、此ノ度支那ニ於ケル日本軍人ノ對米恫嚇運動ハ恐ラク日本軍部ノ意思ニ從ヒ、爲シタルモノテアツテ其ノ目的トスルトコロハ在支ノ米國官吏、商人、及ヒ紳士等ノ

覺醒ヲ促シ、空氣ノ好轉ヲ企テタニ過キナイ、之ヲ以テ排米運動カ擴大  
スルタラウト見ルノハ失當ノ見解タ、先日在京ノ米國記者カ米國大使館  
ノロツカイド氏ト此ノ問題ニツキ談話ヲ交シタカ、當人ハコノ問題ニ關  
シ、全然杞憂ヲ抱イテ居ラヌト傳ヘラレテキル、

(内) ルーター社北京支局長ウツドヘツド氏談

(1) 蔣政權ノ對ソ聯關係

問 蔣政權トソ聯トノ對立關係ニ就キテノ貴見如何、

答 蔣介石ト中國共產黨トノ軋轢ハ明白ナル事實ナリ、之ハ各中立方面ノ證明ニ依リ見ルモ分明ナリ、英國方面ノ信スヘキ情報ニ依レハ蔣介石ハ中國共產黨ニ對シ、始終恐怖ノ念ヲ抱キ居リ外部ニ傳ヘラルル如キ蔣介石共產黨ノ提携ハ全然噓構ノ事實ナリ、目下民主主義國家集團ノ大使、殊ニカール (SEYMOUR) 氏ノ重慶ニ於ケル活動ハ一般消息通ノ推測スル所ニ據レハ蔣ヲ説得シテソ聯ノ間接的ナル支那政治中樞支配ノ企圖ヲ抑制セントスルニアルハ自明ナリト、而モソレカ目下相當ナル效果ヲ擧ケツツアリトノコトナリ、蔣介石ノ抱懷スル恐ソ病ハ恐ラク日本ノソレヨリモ猶甚シキモノアラン、惜シムラクハ蔣介石ト日本トハ各々相異リタル方針ヲ標榜シ居ルカ故ニ互ニ接近スル機會ヲ無カラシメ居ルコトナリ、

## (2) 獨ソ關係

問 最近民主主義國家群ハ獨ソ間ノ友情ハ永續性ナシトシテ大イニ宣傳  
シ居ル模様ナリ、

答 右ハ全ク謠言ニ過キス、余ノ見ル所ヲ以テスレハ現在ノ獨ソ關係ハ  
非常ニ鞏固ナルモノニシテ兩者ノ關係ハ絶對ニ輕視セラルヘキモノ  
ニアラスト思料ス、

經濟

(一) 舊年末ニ當リ諸物價騰貴ニ對スル警察局取締リ辦法

從來少シツ、騰貴シツ、アリタル物價ハ當局ノ公定價格制度ニ依リ抑ヘラレ居リシモ近ク舊年末迫リ一般市民ノ正月用物資ノ購入旺盛ヲ來シ居リ、本來既ニ諸物價相當ノ高値ナル上ニ更ニ加フルニ奸商此ノ機ニ乘シ、故意ニ値上ケヲナシタル形跡アリ、市民ハ物價高ヲ明カニ承知スルモ舊來ノ習慣ニ依リ正月用品ヲ購フタメ購買階級消費階級ハ爲ニ困惑スルコト尠ナカラズ、警察當局ハ毎日警官ヲ派遣シテ隨時ニ賣價ヲ檢査セシメ暴利ヲ貪ル奸商ニ對シテハ嚴罰ヲ加ヘル方針ナリト云フ、然ルニ實情ハ食料品（麵粉、蔬菜、肉類其ノ他）殊ニ豚肉ニ至リテハ二、三日中ニ一舉ニ二十五錢（一斤當リ）モ騰貴シ、布類之亦騰貴シ、甚シキハ娛樂機關テアル支那芝居迄モ從來ヨリ値上リセリ、其レ等ノ諸理由ニ依リ凡ユル部門ノ物價少キハ三割、多キハ五割位騰貴セ



0595

リ

(社會局某職員ノ談)

一月二十五日 北京

## (二) 東亞運輸組合ノ創立

行政委員會情報處方面ノ消息ニ據レバ日本ハ支那ニ於ケル不定期ノ配船ヲ統制スルガタメ組織セラレ、東亞運輸組合ハ近來既ニソノ準備ガ出來、遞信省ノ承認ヲ得タル上本月五日ニ創立大會ヲ舉行スルコト、ナリ、該組合ノ目的ハ日支兩國間及ビ中國沿岸ニ於ケル物資輸送ノ統制ヲ實行スルモノニシテ參加シテキル各會社、組合ハ左ノ如シ

東亞海運	日本郵船	大阪商船	三井物産	山下汽船
國際汽船	山崎汽船	大同海運	大連汽船	辰馬汽船
東和汽船	三菱商事	日本礦業	中村汽船	飯野商事
原田汽船	丸辰海運	日之出汽船	等ナリ	

文 化

(一) 市教育局主催ノ日語講習會

一般社會人ノ日語ニ對スル熱澎湃トシテ興起サレツ、アル今日ニ當リ學校教育ニ於テ率先シテ日語普及スヘク本市ノ教育局ハ先ツ教師ノ資質ヲ向上セシメ指導誘掖ニ效果アラシムル見地ヨリ二月十九日ヨリ三月三十一日迄四十日間本市各市、私立小學校ノ日語敎員ヲ集メ市立第一女子中學校ニ於テ講習會ヲ開催ス、講師ハ教育局ノ日系職員吉川氏武内氏、脇本氏、久世氏ノ四人ガ擔當シ、教育部編審會發行ニ係ル「小學日語讀本」卷一及卷ニヲ用フ

(教育局某職員ノ談)

一月二十六日 北京

## (二) 新民佛教青年會ノ日語普及工作

中國新民佛教青年會ニ於テハ日語普及ニ努ムヘク日語學院ニ於テ一般人士及ビ商人階級ノ餘暇ヲ利用ナシ夜間學習ニ便セシメンガ爲、夜間班商人初級班ヲ設置シ目下生徒ヲ募集シ毎日午後六時ヨリ八時迄ノ二時間主ニ日語會話ヲ教授スル豫定ナリ、該日語教授ハ一般商人ノ日語普及日支親善ノ促進、商人道德ノ注入等ニ目的ヲ置キ共存共榮併セテ速成日語普及ニ努メツ、アルモノナリト云々

(該日語學院ニ應募シ商人談)

一月三十日

## (三) 高等文官試験制度設置

東亞新秩序ノ大業建設シツ、アル途上ノ現今ニ於テ、社會一般ノ失業大學卒業生ヲ救済スベク、併セテ東亞新秩序建設ニ活躍セシムベク人材ヲ拔擢スル見地ヨリシテ豫テ臨時政府ガ考慮セル高等文官試験制度ヲ創設セントシ、已ニ行政委員會ヲ通過シ各部ヨリ人員選出、高等文官考試委員會ヲ組織セシムル專ニナリ居リシガ目下各部ニ於ケル人員モ大體ニ於テ決定シ大體ノ成案ヲ得タルニヨリ近ク實行ヲ見ルベク申請セリ、該高等文官採用試験辦法及ビ組織制度、章則等ハ教育部ト内政部ノ兩部ニ於テ目下慎重ニ審議中ナリ、該組織制度及ビ章則ハ近ク公布サレル由ニシテ近々ニ高等文官ノ採用試験施行サレ人材登用門ガ開カレ失業大學卒業生ノ救済ヲ見ルコトトナルベシ

(教育部某職員ノ談)

一月三十日 北京

## (四) 中國教育總會常委會議開催

中華民國教育總會ハ二月一日午後六時ニ中南海懷仁堂東四所該教育總會會議室ニ於テ該會第十次常委會議ヲ開催セリ、常委員孫世慶氏、師範學院長王謨氏、柯政和次長、鮑鑑清氏、宋介部長、張愷氏、齊樹芸氏、王石之氏、羅慶山氏等、尙該會ノ専門委員李牧伯氏、武三多氏等參集セリ、宋介主席ノ開會ノ辭ニ依リテ討論事項ヲ討論セリ、其ノ大要ハ(1)第五期ニ於ケル教育學報ノ刊物發行竝ニ原稿募集方案ヲ討論セリ、(2)次回座談會ニ於テ「國民精神ノ再建」ヲ主題ト爲シ各自ニ於テ大ニ意見發表ヲナスベク協議セリ、(3)該教育總會章程ノ修正及ビ其他該會會務ノ推進方案等ニツキ各委員ニ於テ熱心ニ意見交換ヲナシ新政權成立後ニ於ケル教育總會トシテノ使命ヲ果スベク慎重ニ討論セリ

(教育總會某委員談)

二月三日

治 安

(一) 經濟警察委員會成立

北京市ニ於テ經濟警察ノ運用及ビ活動ノ強化圓滿ヲ期スル爲各機關ト連絡會議ノ結果、取締ヲ綜合スル見地ヨリ北京憲兵隊本部内ニ「北京經濟警察委員會」ノ成立ヲ見、一月二十五日全体委員出席シテ細目ノ最後の検査ヲナシ北京憲兵隊、北京總領事館警察署、北京警察局ニ經濟警察ヲ設置シ、通貨防害工作、食糧、燃料、生活必需品等ノ不正値煽動者ニ對シ徹底的取締ヲナスコトトセリ、此ノ機關ハ永久的的存在ニシテ必要ノ場合ニハ、中國憲兵隊、華北交通警務部モ參加セシメ、特務機關ト密接ニ連絡ヲナサシム、當面ノ舊年末ノ食糧對策、軍ノ治安經濟工作等ト協力シテ進行シ民衆生活ノ不安ヲ排除シ動搖ヲ防止シ奸商ニ對シテハ斷乎タル處置ヲ取ラシムルコト、セリ

2090

(警察局特務科ノ某職員談)

一月二十七日 北京



## (二) 開封綏靖委員會ノ改組

開封綏靖委員會成立當初ノ目的ハ吳佩孚將軍ノ出馬ヲ待チテ軍隊ヲ招撫セントスルニアリタルガ既ニ吳將軍ノ逝去ニ遭ヒ委員會存立ノ意義ヲ喪ヒタルタメ政府當局ハ關係各方面ト折衝ヲ重ネタル結果右委員會ノ解散ヲ決意シタリ、而シテ右委員會編成ニ係ル救國軍各部隊ハコレヲ治安部ニ編入スベク決定シ最近政府ヨリコレガ命令發令ヲ見ルベシ

## 警察局方面情報

## (三)重慶聯絡員倪鴻福ノ逮捕

宣武門外米市胡同六十一號ノ倪鴻福ハ數月前警察局特務隊ニ逮捕セラレタルガ茲ニ調査ノ結果判明シタル事實左ノ如シ

倪ハ重慶ヨリ派遣セラレ來タリタル聯絡員ニシテ委任狀(白キ繪子ノ上ニ書イテアル)及ビ又偽河北省主席鹿鍾麟ノ旅團長委任狀ヲ有シタリシガ逮捕ノ際破棄シタリ、而シテ彼ノ妻(倪崔氏)及ビ彼ノ友人李萬成併ニソノ妻李烈氏等スベテ逮捕セラレタルガ現在彼等ノ隠レ家ハ警務隊及ビ外四區第十段ノ警長警兵ヲ以テ監視シ他ノ連類者ヲ逮捕セントス、因ミニ倪ノ自白ニヨレバ北京郊外ノ黨軍ハ既ニ數萬人ニ達シタリト

## 警察局方面情報

## (四) 天津市ニ於ケル共產黨ノ秘密連絡方法

探知シタルトコロニヨレバ天津市共產黨ノ秘密連絡情況左ノ如シ

一 新聞（新民報ト庸報）ヲ利用ス、即チ秘密ノ消息ヲ新聞紙ノ活字ノ間隙ニ記入シ通信連絡ノ相手方ハ新聞紙ヲ拾ヒ燈光或ハ日光ニテ透視シテハ秘密命令ガ判讀シ得ル如クス

一 薄手ノ縮ミ紙ヲ利用ス、即チ命令ヲ書入タル縮ミ紙ヲ紙球ニ丸メ衣服ノ隅或ハ耳又ハ髪ノ中ニ隠シ入ル

一 命令ヲ遠方ニ傳達スル時ハ一般ニ連絡者ノ褲裏或ハ「シャツ」(白毛棉製物)ノ上ニ明礬水ニテ秘密通信事項ヲ書入ル、而シテ之ヲ黒インキニテ塗抹スレバ字義ガ現ハレ來ル如クス

一 或ハ飯汁ニテ秘密通信ヲ封筒ノ裏面ニ書入ル、而シテ之ヲ酒中ニ浸潤スバ全貌ガ現ハレテ來ル如クス

一 重要ノ命令アルトキハ綸子或ハ縮ミ紙ノ上ニ右命令ヲ書キテ捺印ス而シテコレヲ小丸ニ作成シテ臘質皮ヲ以テ密封シ目的地ニ至ルマデ肛門部ニ隠シ置ク如クス